



松ノ木だより

令和 8 年 2 月 27 日発行

杉並区立松ノ木中学校

2 月号

教育目標：進んで学ぶ人 心の豊かな人 たくましい人 責任感のある人

ホームページアドレス <https://matsunoki-jhs.edumap.jp>

杉並区教育調査について

副校長 川澄 主税

昨年末は、お忙しい時期にもかかわらず、各種アンケートへの回答にご協力いただき、ありがとうございました。杉並区教育調査および学校独自調査の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

昨年度のアンケート分析と考察に基づき、今年度は大きく次の2点を変更しました。1点目は、令和4年度まで実施されていた生徒向けの杉並区教育調査の質問項目を整理し、それに準じた質問を「追加調査」として尋ねたことです。2点目は、松ノ木中・学校独自調査の回答選択肢を5つから4つに減らして中間率を無くし、より明確な評価を目指したことです。集計表の右側の数値は肯定率を表しています。杉並区の教育調査は、5段階（5：とてもそう思う 4：ややそう思う 3：どちらともいえない 2：あまり思わない 1：全く思わない 回答不能） 学校独自調査は、4段階（4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない 回答不能）で回答していただきました。

【生徒】 【追加調査】 以前の杉並区共通項目に準じた質問。		令和6年	令和7年
1	先生は、クラスみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。		91.4%
2	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。		78.1%
3	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。		65.6%
4	授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。		71.5%
5	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。		92.1%
6	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。		88.7%
7	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。		81.5%
8	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。		96.7%
9	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。		85.4%
10	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。		90.1%
11	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。		90.7%
12	学校や家などで、一か月間に本、新聞、雑誌、調べものをするための資料などを読んだ。		74.8%
13	地域の行事に参加している。		59.6%
14	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。		82.1%
【生徒】 【学校独自調査】		令和6年	令和7年
1	友達や先生、家族のことなどで悩んだとき、学校に相談できる大人（先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、地域の人など）がいる	67.8%	82.1%
2	特別支援学級や自校外の障害のある同い年くらいの子とも交流する機会がある	22.1%	35.6%
3	学校では、地震や火事など、様々な危険を予測し、避けるための知識や考え方について学んでいる	81.3%	92.7%
4	学校では、授業において図書館等を活用している	61.1%	90.7%
5	先生は、体験的な活動や調べ学習を進んで取り組めるように教えてくれている	73.6%	86.8%
6	先生は、学級活動や生徒会活動、学校行事に進んで取り組めるように教えてくれている	80.3%	84.1%
7	先生は、あいさつの励行や決まりを身に付け、学校生活が向上するよう教えてくれている	80.8%	92.1%
8	先生は、将来の進路や生き方、働くことの意味について先生や友達と相談したり、考えたりすることができるように教えてくれている	63.5%	76.2%
9	先生は、いじめや仲間はすれなどがなく、相手の立場を考え、互いに協力し合う関係が作れるよう教えてくれている	72.6%	86.8%
10	先生は、学校生活が充実し、楽しめるよう教えてくれている	71.2%	86.8%
11	クラスが充実し、楽しくなるためには、どうしたらいいと考えますか	自由記述	自由記述
12	先生は、地域でのボランティア活動の大切さを話したり、すすめたりしている	59.1%	69.5%
13	先生は、食べ物（栄養）と生活との関わりについて教えてくれている	66.3%	81.5%

【考察】（生徒について）【学校独自調査】については、中間率を除いたことが影響して全ての数字が向上していると推察できます。昨年度からの課題である「項目1：教育相談」「項目9：いじめ・不登校対策」の2項目は、10%以上肯定率が改善し、良い傾向であると考えられます。「項目2：特別支援教育」は、10%以上肯定率が改善しています。まだ、十分に高い数字ではありませんが、部活動などを通じて、養護学校や特別支援学校との交流の機会を増やした効果がでた可能性があります。また、教職員は、校内研修において、専門家を講師に招き、特別支援教育についての理解を深めました。これからも研修を深めていくことで、肯定率の更なる改善に努めてまいります。「項目4：施設設備の活用」は、質問内容を整理し分かり易くしたため、大幅に肯定率が上昇したと考えられます。「項目11」には、深刻な内容の記述はありませんでしたが、生徒の声を聴く機会をこれからも大切に、生徒が情報を発信できる場を常に提供できる学校であるよう努めます。

【追加調査】については、70%を超える調査結果が多くなりました。その中で、「項目3」と「項目13」が70%を下回りました。ICTを活用した授業の充実や地域行事への参加の呼びかけ等を更に推進してまいります。

【保護者】 【杉並区教育調査】		令和6年	令和7年
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできている	56.8%	56.5%
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている	67.6%	66.7%
3	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる	34.5%	60.1%
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	34.5%	44.0%
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	38.1%	36.9%
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	63.3%	64.9%
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり様々な道具を備えたりする工夫がなされている	28.8%	34.5%
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	41.0%	43.5%
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	51.8%	56.5%
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	79.9%	85.7%
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	38.1%	44.6%
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	40.3%	38.1%
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	12.9%	17.3%
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる	75.5%	71.4%
【保護者】 【松ノ木中学校学校独自調査】		令和6年	令和7年
1	学校は様々な専門性をもつ人材が協力し、組織的に子どもたちの成長を支えてくれていると感じる	57.0%	72.7%
2	学校は障害など、参加に困難さを抱えている子どもたちも、みんなと一緒に活動できる配慮や工夫をしている	29.1%	46.8%
3	地域人材を活用した環境教育や避難所開設訓練などの特色ある教育活動は、子どもたちの成長に良い効果をもたらしている。	76.2%	79.1%
4	義務教育9年間を通して一貫性のある教育は、子どもたちの成長や発達により効果をもたらしている	60.3%	70.5%
5	いじめや不登校などに対して、未然防止、早期発見、解決に向けて、教員が協力して取り組んでいる	55.0%	70.5%
6	学校での生活を通して、子どもに、地震や火災など、様々な危険を予測し、回避する力が育まれていると感じている。	63.6%	71.2%
7	教室や校庭などの清掃、整理整頓など環境整備が行き届いている	83.4%	91.4%
8	学校は、授業をはじめとする教育活動で、図書室等の特別教室を活用している。	53.6%	62.6%
9	学校は、学級活動や生徒会活動、学校行事にすんで取り組んでいる	76.8%	78.4%
10	学校は、あいさつの励行や決まりを身に付け、学校生活が向上するよう取り組んでいる	68.9%	76.3%
11	学校は、奉仕活動など様々な体験活動を保護者や地域、関係諸機関と連携しながらすすめている	74.2%	77.7%
12	学校は、必要に応じて保護者の意見や要望を取り入れている	62.9%	72.7%
13	学校は、子どもの「食」と生活について、適切な指導を行っている	60.9%	77.0%

【考察】（保護者について）【杉並区教育調査】の項目については、昨年度に引き続き、全体的に厳しい数値（肯定率が50%以下の項目が14項目中7項目）となりました。肯定率の低い項目は「回答不能」が多いこともその要因の一つであると思われます。また、「項目3」では、25%以上も肯定率が向上しました。第2学年の総合のテーマとして取り組んでいる国際理解教育の実施が、数値に反映したように感じます。これからは、学校における取り組みについてきめ細やかな発信に努め、「回答不能」を減らすようにし、内容についても分析し、改善に努めてまいります。【学校独自調査】の項目のうち、「項目2：障がい者理解」以外の12項目については、肯定率が10ポイント以上増えた項目が9項目、他の3項目についても2ポイント以上増えています。「項目2」については、今年度から済美養護学校との連携を始め、来年度は更に取り組みを増やす方向で申し合わせています、当面は、部活動を中心とした連携がメインとなりますが、特別支援学校や養護学校との交流を推進し、ホームページ・学校だより等で周知していくことで、学校全体として、特別支援教育の理解を深めてまいります。

今年度、生徒の声をしっかり受け止められるようにと、ふれあいアンケートを複数回実施してきました。今後はこれらのアンケート実施と並行し、直接、教職員と生徒が対話できる機会を増やしていけるよう具体的な検討を進めてまいります。お子様のことで気になることなどがありましたら、遠慮なく松ノ木中学校まで御相談ください。

1 学年：校外学習

第1学年では、1月30日（金）に校外学習に行ってきました。爽やかな冬晴れの中、初めての班別行動に挑みました。

午前中の本所防災館での体験では、様々な災害の動画や説明、体験を受け、災害の恐ろしさや日頃からどう備えるべきかを学ぶことができました。午後の浅草探索では、お店や施設に事前に考えたインタビューを行い、昔から続いているサステナブルな取り組みについて理解を深めることができました。

当日は計画通りにいかないこともありましたが、どの班も臨機応変に、仲間と協力して行動できており、この学年の子たちの成長を感じさせられました。

現在は事後学習として、ポスターとフォト作品を制作しております。3月4日（水）から行われます本校の作品展覧会にて掲示しますので、ぜひご覧ください。

「防災館の体験を通して」標語（生徒優秀作品を抜粋）

防災シアター 誕生日 防災バッグの 更新を

水害体験 避難指示 レベル5待たず 即逃げる

煙体験 煙来た 慌てず低く □おさえ

暴風雨体験

暴風雨 川の近くに 気を付けて

地震体験

地が揺れる その瞬間に だんごむし

その他(津波)

津波来る 家にこもらず 高台へ



2学年：スキー移動教室

2学年：スキー移動教室

第2学年では、2月4日（水）～6日（金）に菅平高原スキー場で、スキー移動教室を実施しました。今年度のスキー教室では、失敗を経験にして仲間と楽しみながら成長しようというテーマから、「七転八起！ 転んで強くなるスキー教室～今日も誰かが雪だるま～」をスローガンに掲げ、3日間一生懸命、スキー実習に取り組みました。生徒の多くはスキー未経験であり、慣れない道具を身につけ、自身の足で登っては降りての繰り返しにより、初日は悪戦苦闘する姿が見受けられました。

それでも、インストラクターさんの指導をしっかりと聞き、転んでもめげずに立ち上がり、諦めずに頑張ったことで、2日目には全員がリフトに乗ってスキー場を滑走することができました。

3日目には、互いに励まし合いながら、一段と上達していく姿に生徒たちの無限の可能性を感じることができました。宿舎内での生活においては、生徒たちが自身の役割をしっかりと把握し、主体的に取り組む姿が随所に見受けられました。また、毎晩行われた係会では、生活の改善点や翌日の行程などを確認し合い、生徒自身でマナーを守り、時間を見ながら行動することができていました。さらに、3日間多くの方々に支えられていることを理解し、「ありがとうございます」「いただきます」「おはようございます」などの挨拶が自然に生まれ、感謝の気持ちを表現していました。

3日間を通じて、生徒は大きな達成感と充実感を味わうことができ、心身共に成長することができました。スキー教室で培ったことを今後の学校生活に活かしてもらいたいと思います。



2学年：上級学校説明会

2月19日（木）6校時、高校の先生方をお招きして、上級学校説明会を開催しました。今回は、都立豊多摩高等学校、都立杉並総合高等学校、日本大学鶴ヶ丘高等学校、文化学園大学杉並高等学校の4校の先生方にお越しいただきました。生徒は4校のうち2校の説明を選択して聞きました。それぞれの学校が、動画等を使って、学校の特色を紹介していました。



★生徒の感想をいくつか紹介します。

- 「それぞれの校風や実績などに、学校の理念が表れているように感じた。今回は聞けなかった2つの学校も、友達から聞いて比べてみたいと思った。」
- 「学力だけではなく、学校の雰囲気や行事への取り組み方なども見て、自分に合った高校を選ぶべきなのだと分かった。」
- 「上級学校説明会を終えて、進路についての考え方が少し変わりました。今まで学力だけで学校を判断していたのですが、『高校に入ってから何をするのか・したいのか』ということ意識することも大事だと思うようになりました。この先じっくり考えたいと思います。」

今後は、自分が興味を持った高校の調べ学習に入ります。自分に合った学校はどのようなところなのか、自分は上級学校で何を学びたいのか、目的意識をもって取り組んでほしいです。

令和8年度「杉並区中学生海外留学事業」について

令和8年度杉並区中学生海外留学事業についての募集案内は、3月1日号の広報すぎなみ及び区ホームページに掲載され、3月2日（月）に「お知らせBOX」にも格納されますので、ご興味のある方はご覧ください。



3月行事予定

日	曜	行	事	日	曜	行	事
1	日			16	月	避難訓練	⑤⑥カット
2	月	生徒会朝礼	都立一次発表 【1,2年⑥カット:3年生給食なし⑤⑥カット】	17	火	卒業式予行③④	⑤⑥カット
3	火	作品展示会準備		18	水	卒業式前日指導④	卒業式準備⑤
4	水	作品展示会始	保護者会(1,2) ESAT-J(1,2)②～④	19	木	卒業式	【給食なし】
5	木	普通救命講習(2)	都立二次出願 理科出前授業(1C③④、1A⑤⑥) 学校運営協議会	20	金	春分の日	
6	金	⑥カット		21	土		
7	土			22	日		
8	日			23	月	⑥カット	都立定時二次出願
9	月	全校朝礼・安全指導・作品展示会終	卒業式在校生練習(1,2)⑥	24	火	大掃除⑤（体育着登校）	⑥カット
10	火	薬物乱用防止教室(3)⑥	都立二次・追検査	25	水	修了式／離任式	学年集会【給食なし】
11	水	全国学力調査・英語CBT事前調査(2)⑤	理科出前授業(1B③④)	26	木	春季休業日開始	都立定時二次入試
12	木	卒業式全体練習⑤	⑥カット	27	金		都立定時二次発表
13	金	国際理解教育(3)③④	都立二次発表 専門委員会・中央協議会（後期終）⑥カット	28	土		
14	土			29	日		
15	日			30	月		
				31	火		